

東村山市立保育園のあり方検討会 事務局ニュース No.2

平成24年11月28日発行



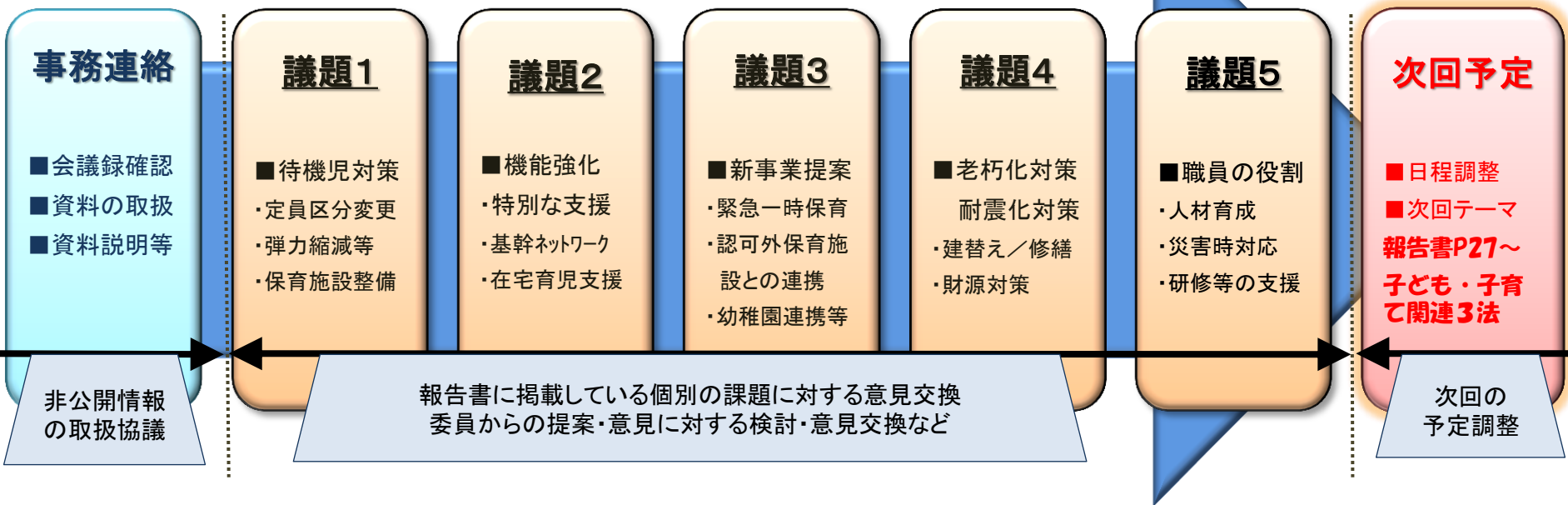
事務局: 東村山市 子ども家庭部 子ども育成課
〒189-8501 東村山市本町1-2-3 いきいきプラザ1階
【TEL】042-393-5111(内線3197・3198) / 【Fax】042-395-2131
【E-Mail】kodomoikusei@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp
【市HP】http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp

「事務局ニュース」は、東村山市立保育園のあり方検討会の会議の進行状況をいち早くお伝えするために、会議録完成前に概要を取りまとめたものです。会議の詳細は、**会議録**にてご確認ください。

開催日時等
平成24年11月14日(水)
午後7時～9時
いきいきプラザ学習室

【 第2回検討会の概要 】

第2回の検討会は、次のような流れで開催されました。



第1回検討会において配布した「準備会報告書」をもとにたくさんの意見が出されました。参照したページは、報告書P8～P26(東村山市立保育園に対する取組み)です。

第1回検討会後における補足意見等

◎幼稚園の4年保育について

★会議前に委員から提出のあった質問・意見・確認事項を事務局が取りまとめ、全委員へ配布しており、その内容を前提に補足等を行ったものです。

議題1における主な意見等

- ◎保育園の欠員や倍率等の情報が不足している
- ◎施設の入所案内等の情報発信を改善できないか
- ◎定員区分の変更に伴う影響があるのではないか
- ◎低年齢児の定員増には職員数を増やす必要があるのでは
- ◎0～2歳定員を揃えると、1歳2歳児の入園がこれまで以上に難しくなるのではないか（進級児で枠が埋まる）
- ◎兄弟姉妹が同じ保育園に入れるようにできないか
- ◎0歳児のニーズはどのくらいあるのか
- ◎1歳児定員は育児休暇後の仕事復帰のためにも重要である

議題2における主な意見等

- ◎障害児の受入れは重度軽度で受入側も準備体制が違う
- ◎障害児ニーズは年度毎に異なるので柔軟な受入れが必要
- ◎在宅育児支援は十分手厚いのではないか
- ◎市内では各施設で類似事業があり役割分担や整理が必要
- ◎事業内容と分担を精査のうえネットワークを構築すべき
- ◎地域向けの専任職員の配置より待機児対策を優先すべき
- ◎在宅支援は民間・地域取組の方が充実している面もある

議題3における主な意見等

- ◎0～2歳の施設は、その後継続入所できるよう連続性が大切
- ◎認可外保育施設と3歳児以上の幼児施設との連携という案も
- ◎認可外保育施設には認可にはない特長もある

議題4における主な意見等

- ◎児童福祉法の規定の趣旨を踏まえ市の責任で整備すべき
- ◎国や都の補助金を活用しようという面が目立ちすぎる
- ◎安全面は最優先で確保してもらいたい
- ◎市立保育園のみでなく、民間施設の安全性も支援すべき

議題5における主な意見等

- ◎民間保育施設の職員も研修はあるし意欲的に取り組んでいる
- ◎民間保育施設の長期雇用への支援が必要ではないか
- ◎職員を勤続年数で能力評価するような表記はどうか
- ◎災害時の対応は事前に整備されていることが大前提

次回に向けた調整について

- ◎第1回検討会会議録は、ホームページ等にて公開（掲載済）
- ◎第2回検討会も、前回同様に事務局ニュースを発行する
- ◎第3回開催日は、平成24年12月5日（水）
- ◎第4回開催日は、平成25年1月16日（水）
- ◎次回のテーマは、報告書27ページ以降と新法について

※ 議題1～5は、1ページ目（裏面）のフローチャートの各項目とつながっています。

※ 上記の項目は発言概要を取りまとめたものですので、発言内容の詳細は、第2回検討会の会議資料をご覧ください。

次回の会議は、平成24年12月5日（水）午後7時から開催します。

会議は傍聴可能（定数10名）です。詳細は、市ホームページ（※）をご覧ください。事務局にお問い合わせください。

（※）市HP・TOPページ ≫ 市政情報 ≫ 審議会等（『主な施策・計画・取組み』の上から4つ目） ≫ 福祉・子育て・健康・保険年金に関すること ≫ 東村山市立保育園のあり方検討会